

# 検査情報月報



横浜市衛生研究所

# 令和7年11月号 目次

## 【検査結果】

医動物・種類同定検査結果（令和7年7月～10月） ..... 1

## 【情報提供】

衛生研究所ウェブページ情報（令和7年10月） ..... 2

## 【感染症発生動向調査】

感染症発生動向調査報告\*（令和7年10月） ..... 3

\* この記事では主に、医療機関向けの情報を提供しています。

感染症発生動向調査は感染症法に基づく国の事業です。本事業に関する詳細は、「感染症発生動向調査とは」（下記URL）をご参照ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo-fukushi/eiken/kansen-center/doko/systemgaiyo.html>

## 医動物・種類同定検査結果（令和7年7月～10月）

医動物担当では、人の健康を害する、または不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かり、効果的な対策を立てることにつながります。

令和7年7月から10月の4か月間の種類同定検査報告件数は、昆虫類1件(ハチ目)、その他の節足動物1件(ワラジムシ目)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・ 発生状況等 (相談月)	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
校庭の砂場付 近にハチが飛 び回っている。 (7月)	 成虫、黒色、腹部に黄白色 の斑紋あり、約23mm	ニッポンハナダカバ チ (ハチ目)	砂地に穴を掘って営巣する。 幼虫の餌はアブ類、ニクバエ 類、キンバエ類、ハナアブ類 などのハエ目の成虫である。 餌は随時補給する。 絶滅危惧 II 類(絶滅の危険 が増大している種)に指定さ れている。
マンション 1 階 の駐輪場に虫 が多数出る。 (10月)	 成虫、灰色、約20mm	フナムシ (ワラジムシ目)	海岸の岩盤や突堤など硬い 基質の場所や陸に揚げられ た船、波消しブロックなどに 多くみられる。若い個体は汀 線付近に多いが、老成個体 は飛沫帶から海岸林にも多 い。

【微生物検査研究課 医動物担当】

# 衛生研究所ウェブページ情報（令和7年10月）

横浜市衛生研究所ウェブページは、平成10年3月に所独自のウェブサイトとして開設されました。現在は、本市ウェブサイトに統合され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報を提供しています。今回は、当ウェブページにおける令和7年10月の追加・更新記事について報告します。

## 1 追加・更新記事

令和7年10月に追加・更新した主な記事は、5件でした。

掲載月日	内容
10月2日	横浜市インフルエンザ流行情報1号
10月7日	横浜市における蚊媒介感染症のウイルス検査結果(速報版第10回)
10月15日	感染症に気をつけよう(10月号)
10月21日	横浜市における蚊媒介感染症のウイルス検査結果(速報版第11回)
10月30日	横浜市インフルエンザ流行情報第43週

## 2 記事紹介

横浜メディカルダッシュボード

<https://iryo-dashboard.city.yokohama.lg.jp/>

横浜市インフルエンザ流行情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/rinji/rinji.html>

横浜市における蚊媒介感染症のウイルス検査結果

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/byogentai/infc-kabaikai.html>

感染症に気をつけよう

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/shimin/kiwotukekyou.html>

ソーシャルメディア

[https://www.instagram.com/eiken\\_yokohama\\_official](https://www.instagram.com/eiken_yokohama_official)

【 感染症・疫学情報課 】

# 横浜市感染症発生動向調査報告（令和7年10月）

委員会開催日(2025年10月23日)時点のデータになります。

## 《今月のトピックス》

- 百日咳の報告が依然多い状態です。
- 梅毒は20歳代～50歳代を中心に幅広い年齢層で患者が多く発生し、10歳代の報告もみられます。
- インフルエンザが流行期に入りました。

### ◇ 全数把握の対象 <2025年9月22日～10月19日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	14件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	2件
E型肝炎	4件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
デング熱	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
レジオネラ症	7件	水痘(入院例に限る)	2件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2件	梅毒	25件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1件	百日咳	94件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件		

1. **腸管出血性大腸菌感染症:** 10歳未満～60歳代で、O血清群はO157が8件、O103、O111、O166、O168がそれぞれ1件、O不明が2件です。経口感染と推定される報告が5件、接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が8件です。
2. **E型肝炎:** 40歳代～80歳代で、経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が3件です。
3. **デング熱:** 20歳代～50歳代で、感染地域は海外(インド、カンボジア、スリランカ)で、動物・蚊・昆虫等からの感染と推定される報告が2件、感染経路不明の報告が1件です。
4. **レジオネラ症:** 60歳代～90歳代で、肺炎型が7件です。水系感染と推定される報告が3件、感染経路等不明の報告が4件です。
5. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症:** 60歳代及び70歳代で、感染経路はいずれもその他と推定されています。
6. **クロイツフェルト・ヤコブ病:** 70歳代で、病型は古典型CJDです。感染経路等は不明です。
7. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症:** 70歳代で、血清型はG群です。感染経路等は不明です。
8. **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む):** 30歳代及び40歳代で、感染経路はいずれも性的接触(同性間1件、異性間1件)と推定されています。
9. **侵襲性インフルエンザ菌感染症:** 20歳代及び60歳代(ワクチン接種歴不明2件)で、接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
10. **侵襲性肺炎球菌感染症:** 30歳代及び80歳代(ワクチン接種歴不明2件)で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
11. **水痘(入院例に限る):** 20歳代及び40歳代(ワクチン接種歴不明2件)で、いずれも感染経路等は不明です。
12. **梅毒:** 10歳代～90歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期8件、早期顕症梅毒Ⅱ期7件、晚期顕症梅毒2件、無症状病原体保有者8件です。性的接触による感染と推定される報告が21件(異性間12件、同性間3件、詳細不明6件)、感染経路等不明が4件です。
13. **百日咳:** 10歳未満～70歳代(ワクチン接種歴4回40件、3回2件、無7件、不明45件)で、家族内感染と推定される報告が15件、周囲の流行と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が77件です。

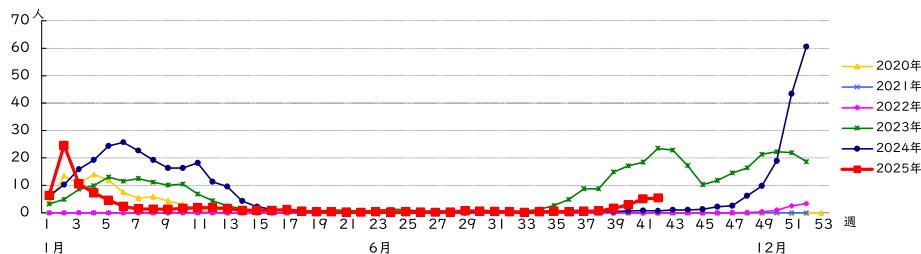
報告週対応表	
2025年第39週	9月22日～ 9月28日
第40週	9月29日～10月 5日
第41週	10月 6日～10月12日
第42週	10月13日～10月19日

## ◇ 定点把握の対象

※ 2025年第14週(3月31日～4月6日)以降、小児科定点は94→51、内科定点は59→39 医療機関に変更されました。

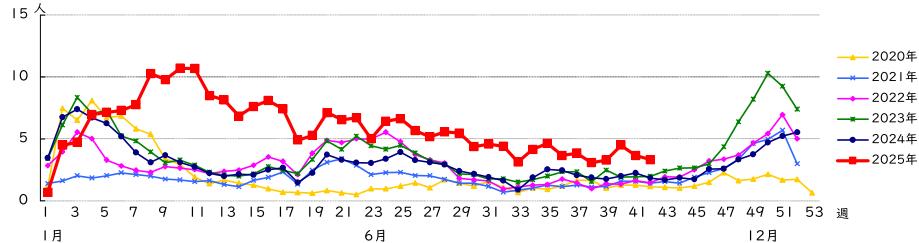
### 1 インフルエンザ

第37週(9月8日～9月14日)以降、3週連続増加し、第39週(9月22日～9月28日)に、流行期入りの目安となる1.00人を超えて、1.62となりました。第42週は5.44です。



### 2 感染性胃腸炎

過去5年の同時期と比較すると比較的高い値で推移しています。第42週は3.32です。



### 3 性感染症(2025年9月)

性器クラミジア感染症	男性:59件	女性:19件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:21件	女性:10件
尖圭コンジローマ	男性:23件	女性: 4件	淋菌感染症	男性: 9件	女性: 2件

### 4 基幹定点週報

	第39週	第40週	第41週	第42週
細菌性髄膜炎	0.00	<b>0.25</b>	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	<b>0.25</b>	0.00	<b>0.67</b>
マイコプラズマ肺炎	<b>1.00</b>	<b>0.50</b>	<b>0.75</b>	<b>1.00</b>
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

### 5 基幹定点月報(2025年9月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	19件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2025年第39週～第42週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点93件、小児科定点11件、定点医療機関外1件でした。

11月6日現在、表に示した各種ウイルスの分離23株と遺伝子61件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2025年第39週～第42週)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状等		手足口病	伝染性紅斑
	上気道炎	下気道炎		
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	5			
	26	1		
インフルエンザウイルス AH1pdm09	1			
インフルエンザウイルス AH3	6			
インフルエンザウイルス B (ビクトリア系統)	5			
ライノウイルス	3			
	12	3	1	
パラインフルエンザウイルス 2型	1			
	2			
パラインフルエンザウイルス 3型				
	1			
RSウイルス				
	5	3		
ヒトメタニューモウイルス				
	2	1		
アデノウイルス 2型		1		
	2			
アデノウイルス 型未同定				
	1			
ヘルペスウイルス 1型	1			
B19ウイルス				1
合 計	22	1		
	51	8	1	1

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【微生物検査研究課 ウィルス担当】

### 〈細菌検査〉

2025年第39週～第42週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症21件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症2件、侵襲性インフルエンザ菌感染症2件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、細菌性食中毒由来 *Campylobacter jejuni* 1件でした。

基幹定点からの検査依頼はサルモネラ症1件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症2件、百日咳1件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎4件、「ARI定点」から1件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2025年第39週～第42週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等		
保健所	腸管出血性大腸菌感染症	21	O157:H7 VT1 VT2	(8)	
			O157:H7 VT2	(6)	
			O157:H- VT1 VT2	(1)	
			O26:H- VT1	(1)	
			O103:H2 VT1	(1)	
			Og100:H- VT2	(1)	
			Og112ab:Hg2 VT1 VT2	(1)	
			Og118/151:Hg2 VT1	(1)	
			Og156:Hg25 VT1	(1)	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		2	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	(1)	
			<i>Enterobacter cloacae</i> complex	(1)	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	<i>Haemophilus influenzae</i>	(2)	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	G群溶血性レンサ球菌	(1)	
細菌性食中毒		1	<i>Campylobacter jejuni</i>	(1)	
基幹定点	サルモネラ症	1	<i>Salmonella Chester</i>	(1)	
分離同定	項目	検体数	材料	同定、血清型	
保健所	レジオネラ症	2	喀痰	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (2)	
	百日咳	1	咽頭 ぬぐい液	百日咳菌遺伝子陽性(マクロライド耐性変異無し)(1) 百日咳菌培養陰性(1)	
小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	咽頭 ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	A群溶血性レンサ球菌 T4 (3) A群溶血性レンサ球菌 T28 (1)	
ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
ARI定点	咽頭 ぬぐい液	ARI	1	百日咳菌遺伝子 肺炎マイコプラズマ遺伝子 溶血性レンサ球菌 培養 百日咳菌培養	陰性(1) 陰性(1) 陰性(1) 陰性(1)

【微生物検査研究課 細菌担当】